

日本経済新聞社と英フィナンシャル・タイムズの集計で、世界全体のワクチンの累計接種回数は126億2276万回となった。

2022.9.10 日本経済新聞

世界の接種状況

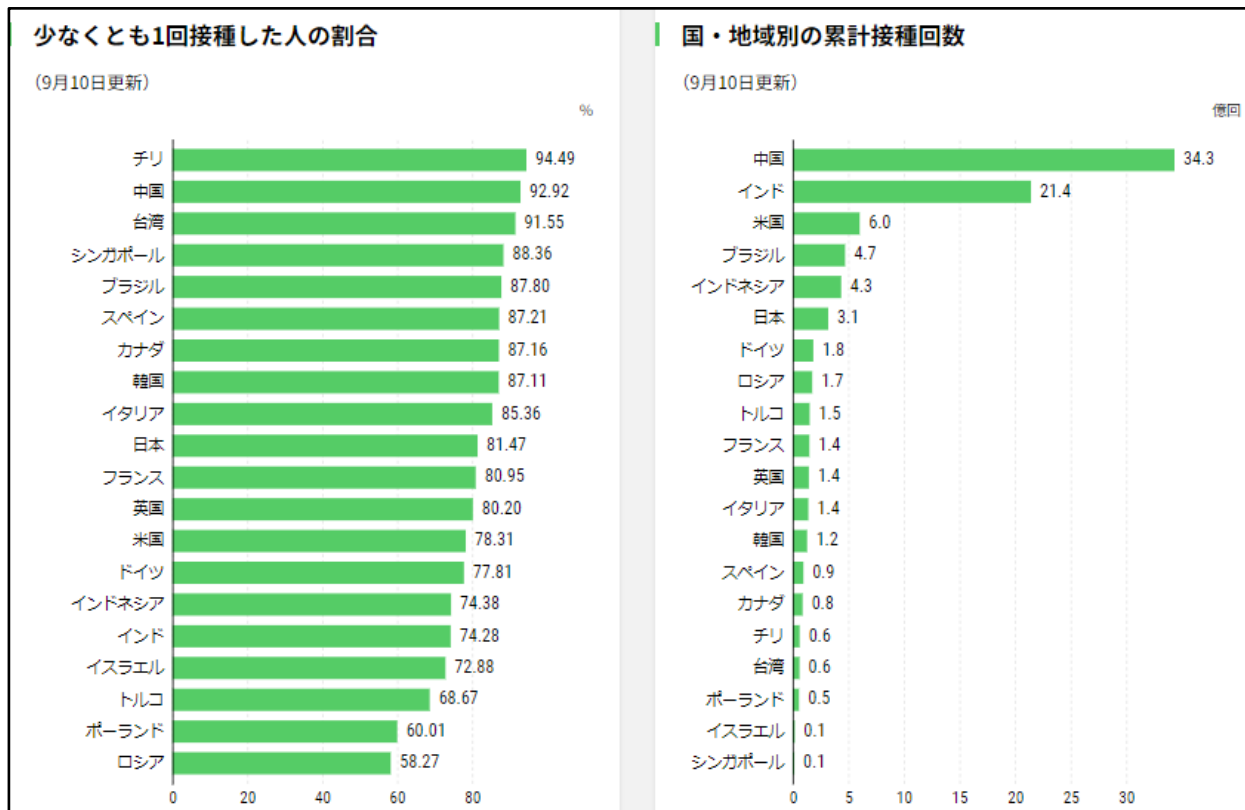
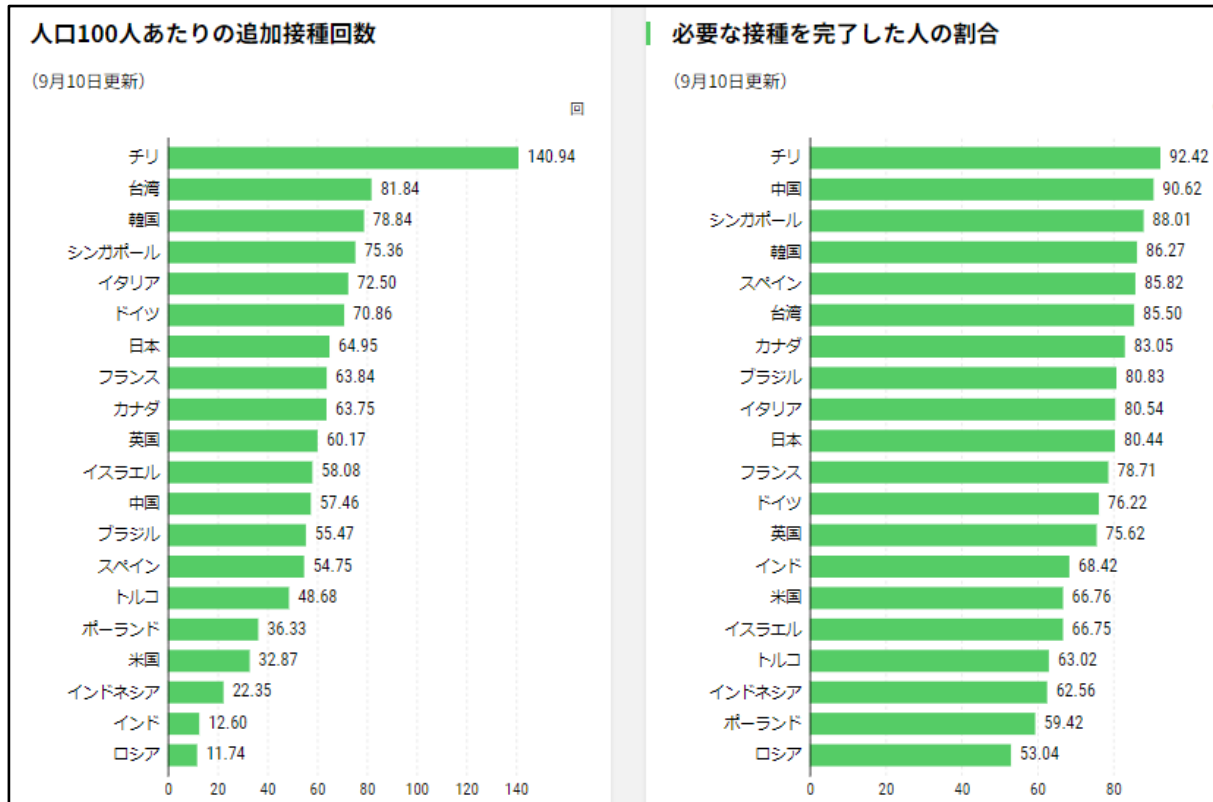
新型コロナワクチンは233カ国・地域で接種されている。人口100人あたりの追加接種回数を色の濃淡で表すと、欧州や南米などで接種が比較的進んでいる様子がわかる。50回を超えているのは51カ国・地域ある。一部の先進国が巨費を投じてワクチンの確保を進める一方、経済力に劣る発展途上国での接種が遅れている。

感染者数、死者数は9月8日、カッコ内は前週比 ▲ 増加 ▼ 減少 = 変化無し						
国・地域	人口100人あたりの追加接種回数	必要な接種を完了した人の割合	少なくとも1回接種した人の割合	100万人あたり新規感染者数の7日移動平均	100万人あたり新規死者数の7日移動平均	
世界	-	63.6	69.1	68.5 (▼)	0.2 (▼)	
チリ	140.9	92.4	94.5	260.6 (▼)	1.4 (-)	
台湾	81.8	85.5	91.6	1,418.7 (▲)	1.4 (▲)	
ウルグアイ	81.7	83.3	86.4	84.5 (▲)	0.4 (▲)	
マルタ	81.5	91.2	92.6	39.3 (▼)	0.3 (▼)	
韓国	78.8	86.3	87.1	1,479.2 (▼)	1.2 (▼)	
ペルー	76.9	85.3	90.5	63.2 (▼)	0.9 (▼)	
ブルネイ・ダルサラーム	75.6	101.5	102.7	902.6 (▲)	0.0 (-)	
シンガポール	75.4	88.0	88.4	341.6 (▼)	0.2 (-)	
キューバ	73.8	88.2	94.5	3.2 (▼)	0.0 (-)	
フィンランド	69.7	78.5	81.7	209.5 (▼)	2.9 (▲)	
オランダ	69.2	64.2	68.1	55.8 (▼)	0.1 (-)	
ベトナム	68.9	85.3	91.7	24.8 (▼)	0.0 (-)	
アイスランド	68.8	81.2	84.5	112.6 (▼)	0.0 (▼)	
ベルギー	67.7	79.2	80.1	183.1 (▲)	0.7 (-)	
ルクセンブルク	67.7	73.2	76.2	409.1 (▲)	0.0 (▼)	
ニウエ	67.6	87.6	102.0	-	-	
ポルトガル	66.9	86.5	94.6	217.2 (▼)	0.6 (▼)	
アルゼンチン	66.9	83.2	90.9	36.7 (▼)	0.2 (-)	
パラオ	66.7	101.4	113.8	435.9 (▲)	0.0 (-)	
日本	65.0	80.4	81.5	940.8 (▼)	2.2 (▼)	
カタール	64.6	96.4	96.4	219.7 (▲)	0.0 (-)	

日本は24番目となっています。

主な国・地域の接種状況

世界全体の累計接種回数は9月9日までに126億2276万回を超えた。7日間の接種回数は1日平均で365万回になっている。国・地域別では中国、インドの接種回数が突出している。多くのワクチンは免疫獲得に2回以上の接種が必要だ。1回接種で免疫獲得をめざすのはジョンソン・エンド・ジョンソン（J&J）の製薬部門ヤンセンファーマ製など一部のワクチンに限られる。



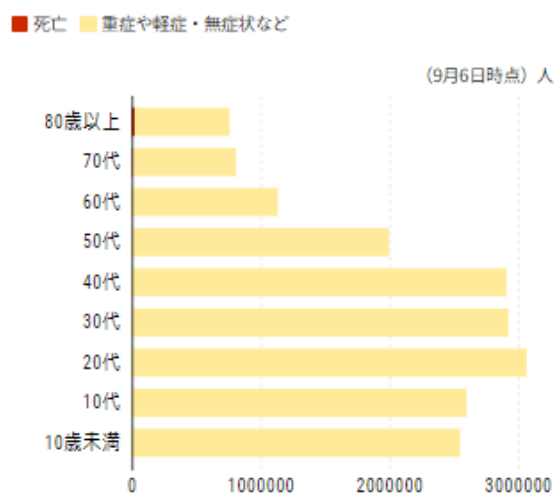
チャートで見る日本の感染状況 新型コロナウイルス

人口10万人あたりの累計感染者数



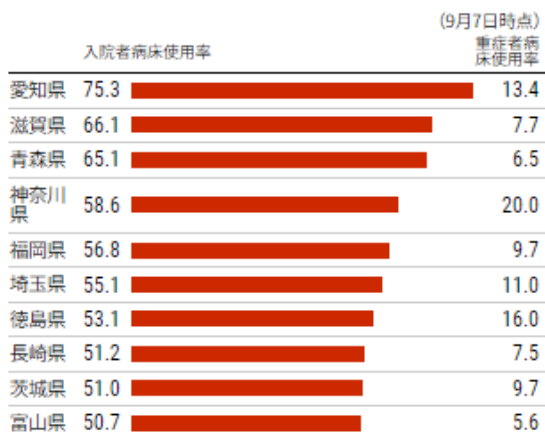
都道府県別の累計感染者数を人口10万人あたりでみる。沖縄県は9月10日時点で人口10万人あたり32917.9人に達した。最も少ないのは岩手県の8167.9人。

年代別の感染状況



厚労省によると、9月6日時点で年齢・性別が判明している死者のうち70歳以上の人は3万276人で、全世代の累計死者の87.6%を占める。感染者のうち亡くなった人の比率を示す致死率は、60代は0.2%、70代は0.9%で、80歳以上になると3%と高くなる。

入院患者のベッド使用率



厚労省がまとめた都道府県が確保している病床数に対する入院者数の比率をみる。9月7日時点で15自治体が50%を上回っている。

直近1週間の人口10万人あたりの感染者数



直近1週間の人口10万人あたりの感染者数を都道府県別にみる。9月10日時点で鹿児島県が848人と最も多かった。